

# デジタル変革で 地域課題を解決

## YMCA、崇城大 SCBラボ協定

熊本YMCAと崇城大IoT・AIセンター、一般社団法人SCBラボ（いずれも熊本市）は18日、デジタル技術で社会を変革する「デジタルトランスフォーメーション」（DX）で、地域の課題を解決するための包括連携協定を結んだ。

同センターが持つ情報通信技術（ICT）とSCBラボの地域活性化のノウハウ、YM

CAの社会貢献・人材育成活動をつなげ、人口減少や高齢化などの課題に対応する人材を育てる。

具体的には、YMCAの各施設で国際交流やSDGs（持続可能な開発目標）などをテーマに、市民参加型のワークショップを開催。YMCA職員が崇城大情報学部2、3年生を対象に講義する。

熊本市役所で会見した熊本YMCAの中村賢次郎統括本部長（50）は「互いの強みを生かし、迅速な課題解決につなげたい」と話した。

（河内正一郎）